

事務事業名 筑紫野市青少年育成市民会議補助事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：610

施 策：	03	子ども・若者の健全育成	財務コード	01090603-09-549
基本事業：	01	子ども・若者の学習機会・体験活動の充実	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	家庭・地域での子どものための活動が充分だと思ふ市民の割合 学校の授業以外で体験活動をしている児童の割合 学校の授業以外で体験活動をしている生徒の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和56年度 ~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市青少年育成市民会議			筑紫野市青少年育成市民会議は、コミュニティ運営協議会をはじめとするボランティア団体、各小中学校PTAや校長会、青少年指導員会といった子どもを見守る団体など、合わせて43団体と11人の個人会員で構成されており、活動を支援するため補助金を交付する。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【活動】 ・役員・事務局会を毎月1回、幹事会を2ヶ月に1回実施。 ・市民フォーラムの開催（毎年11月） ・「子ども110番の家」プレートの作成配付。 ・市内中学校吹奏楽部合同演奏会、中学校野球大会、中学校平和劇、美咲カヌー大会、筑紫小学校区フットベースボール大会等への事業支援。							
青少年の健全育成に係る団体、機関の中心的役割を果たす「筑紫野市青少年育成市民会議」の活動を支援する。			【補助金交付の流れ】申請書提出 申請内容確認 補助金交付 実績報告							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標	
加盟団体数		数	43	43	43	43			43	
市民フォーラム参加者数		人	103	117	193	193			200	
5. コスト										
事業費		計	千円	200	200	200	200			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般		千円	200	200	200	200				
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0.2					
正職員人件費		千円	1,563	1,605	1,676					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,763	1,805	1,876	200				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		加盟団体数は横ばい、市民フォーラム参加者数は、14人の増となった。市民フォーラムは、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度まで中止としていたが、令和4年度から対面形式で開催しており、市広報紙等の周知により参加者が増加したものと考え。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし							
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
青少年育成市民会議が行う各種事業の推進へ助言等を行い、フォーラムをはじめとする事業に多くの住民が参加し、青少年健全育成のための活動が活発となるよう支援を続ける。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
昭和56年、青少年問題のもつ重要性に鑑み、広く市民の総意を結集し、国、県及び市の施策と呼応して青少年の健全な育成を図ることを目的として組織された「筑紫野市青少年育成市民会議」を支援するための事業。										